



CANOA

だより

51

2013年1月発行

文・写真_鈴木真由美 編集_橋口博幸 発行_ブラジル事務局

Praia do Esteveao s/n, Canoa Quebrada, Aracati-CE-Brasil CEP: 62800-000

あ つという間に二〇一二年も終わりに近づいてきました。今年の初め、八年ぶりに日本の冬を体験し、やはり私の中には春夏秋冬という四季が育まれているのだと実感しました。カノアでもよく先生たちに言うのですが、人は呼吸をするように、二つの局面を生活の中に取り入れる必要があります。そうすることで、体が自然とリズムを刻むようになっていくからです。暑さー寒さ、騒がしさー静けさ……思いつきり体を動かしたあとにはゆっくりと体を休めるように、この呼吸のリズムを私たちも常日頃から意識していきたいものです。

ブラジルでは、十月十二日は「こどもの日」です。毎年この日の前後に遠足に行きます。毎年どこに行こうかと予算とにらめっこしながら決めるのですが、今回は「Ponta Grossa (ポンタ・グロッサ)」という、近隣の海に行きました。私達が住んでいるところも海なのですが、海は海でも、それぞれに特色があります。高い崖に囲まれ、海辺には芸術作品のような岩が連なっているこの海岸は、子ども達にとっても遊びの宝庫。一日中遊び続けて、帰りのバスの中はみんな寝静まり、本当に静かでした。

の遠足を実現させるためにBINGOを行い、寄付を募りました。中にはfacebookを通じて支援してくださった方も居り、みなさんのおかげで今年も無事に遠足を実現することができました。ご支援いただきました皆様、本当にありがとうございました。



JICA 草の根技術協力支援事業採択内定

小林美香

二〇一〇年より準備してきたプロジェクトが、ようやく採択内定を取り付けました。二〇一三年一月より、「ブラジル東北都市子育て支援体制強化による地域力向上プロジェクト」と題して、二年九ヶ月間、子育て支援事業を実施して行くこととなります。

カノア・ケブラーダでは、治安の悪化や虐待・家庭崩壊の増加等によって、安心して子育てができる環境が奪われています。こうした問題増加の要因として、青少年や若者たちの生活不安や非行問題が指摘されています。

そこで、このプロジェクトでは、青少年に対する教育支援として、問題行動に対する予防教育および自立支援教育を行っていきます。また、団体の強みである幼児教育事業をより充実させ、子どもを安全に安心して育てられる環境づくりを行っていきます。

主な事業内容として、①子育て支援システムの構築（子育て広場の開設）、②十二〜十五歳を対象としたライフスキルトレーニングの実施、③各専門機関と地域住民によるコミュニティネットワークの設置、以上三つの活動を考えています。

なお、このプロジェクトでは、現地の事業運営を鈴木真由美（団体代表・保育士）が担当し、日本国内における業務調整を小林美香（団体理事・助産師）が行って行く予定です。事業実施にあたり、今後とも、ご指導・ご支援のほどよろしくお願いいたします。

「Festa de Musica Brasileira」報告

谷村祥子

二〇一二年十一月四日（日）に栃木県真岡市の「SHIRO Event House」にて「Festa de Musica Brasileira」を行いました。このイベントは、Angelo ちゃんという日本（栃木県）に住むブラジル人の知人が私たちの団体の活動に共感し、企画してくださいました。受付やビンゴの司会など、Angelo さんのご友人が担当してください、皆さん朝早くから Angelo さんと一緒に準備してくださいました。

最初のカノアの紹介は、私が日本語で説明をした後に、日本語の翻訳のボランティアもされている方が日本語の内容をバッチリ翻訳して説明してくださいました。イベント開始前に、私たち団体の事をきちんと理解してから訳そうと本当に親身になって翻訳準備してください、すごく有難かったです。

その後、ビンゴ・バンド演奏・カラオケ・料理などなど、最初はスカスカだった会場に、気づけば五十人以上の人が集まりました。皆さん Angelo さんを通じて来た方たちで、九〇%ブラジルの方たちでした。

今回のイベントは、Angelo さんが中心となって色々やってくださり、私たち側でもできる範囲で関わっていくことができました。今後東京近郊で行う場合には、もう少し工夫をする必要があると感じています。また、物品関係は以前作った貝殻の写真立ての評判がよかったので、そういった物品を増やして充実させていきたいです。

Angelo ちゃんのような皆様のご協力もあり、素晴らしいイベントを行うことができました。企画、実行してくださいました Angelo さんに心から御礼申し上げます。また、イベントに参加してくださったみなさまも本当にありがとうございます。

一年六ヶ月のエステーヴァン村の生活

JICA日系社会青年ボランティア（青少年活動） 真野由紀

日本の皆さん、こんにちは。JICA日系青年ボランティアとしてこの地に赴任し、一年四ヶ月が経ちました。二〇一一年後半は保育園クラスで、そして二〇一二年は六〜九歳のクラスで授業補助を行いました。教師経験の無い私にとって一年目は、右も左も分からず、担当授業は受け持つものの、とにかく手探りで自分の教え方を探す新任教師のようでした。しかし、一年が経った頃、生徒との接し方にも慣れ、小さなコミュニケーションの中で自分のリズムで生活できるようになりました。

さて、八月からは授業以外のことで大忙しでした。なぜなら、私たちの活動を一目見たいというボランティアが立て続けに訪問に来たからです。事の始まりは、八月に滞在したドグラス（通称：キコ）がFacebookで知人に「この素晴らしいさを宣伝し続けたことにあり、その後、モンチアズールでの活動を終えたドイツ人やイギリス人が波のように押し寄せたというわけです。また、日本で会を支えてくれているファビアーナと村田美帆（東海大学四年生）ちゃんも短いブラジル滞在期間の中で訪問に来てくれました。そして、二年前に活動していたドイツ人ボランティア、レアが再訪問に来てくれたことは、エステーヴァン村の若者たちにとって、大きな喜びでした。

エステーヴァン村の過去を知る人は、「若者が忙しくなってしまう。仕事ばかりしていて会うのが難しい。」と言いますが、村の若者が成長し、社会の一員になった証拠だと思えます。急速に変化する時代の中で、村の若者も必至に生きているのだと私は感じます。

さて、現在私が取り組んでいる事の一つに、隣のモツソロという町で行う月二回の日本語教室があります。モツソロには十家族ほどの日系人が住んでおり、多くはメロン農園を営んでいます。そんな日系三世の子どもたちに、日本語や日本の遊びを通して日本を感じてもらいたいと思い活動しています。そしてこの活動を通じて、北東部に点在する日本に関わる人々を繋げることも目的の一つです。つまり、日本語講座のあるフォルタレーザと、カノア・

ケブラーダ、そしてモツソロが相互に交流し、日本祭のお手伝いなどを通じて、この北東部で日本文化をアピールしてまいりたいと思います。

さて、ここエステーヴァン村でも、七月七日に七夕祭を開催し、七夕の日本語劇や、流しそうめん、一〇〇円ショップダイソー商品のくじ引きなどを行いました。特に、フォルタレーザの和太鼓グループの発表が良かったと好評で、初めて聞く和太鼓の音に、観客たちは息を飲んで聞き入っていました。フォルタレーザの日本語講座の学生との繋がりはますます深まってきていると感じます。

先日、私が教えているエステーヴァン日本語教室の生徒三人がフォルタレーザの州立大学で行われた日本語スピーチコンテストに出場しました。カッシオ（十三歳）は大好きな日本文化について、イザベル（十二歳）はトイレの神様のドラマについて、マリーザ（十六歳）はエステーヴァン村について、日本語で発表しました。真由美さんが審査員として見守る中、三人とも素晴らしいスピーチをし、大学生たちを驚かせました。一年間学んできた力を一杯發揮してくれたことに感動し、久しぶりに涙が出た瞬間でした。何事も頑張れば結果となって表れ、認められることを、生徒たちは肌で感じてくれたと思います。

二〇一三年、私の活動期間は六月までです。私にできることはほんの少しのお手伝いですが、ここで学ばせて頂いた恩返しができるよう、頑張ってまいります。日本で支えてくださる光の子どもたちの会の皆様に感謝申し上げます。



日本と交流

「アートマイル壁画プロジェクト」開始

JICA 日系社会青年ボランティア 真野由紀

三、六メートルの壁画の共同制作を通し、日本と国際交流をすすめる外務省のプロジェクトに学童教室（N）が参加することとなりました。九月より開始し、日本の小学六年生たちとスカイプなどを通して、壁画のデザインについて意見交換をしたり、互いの文化を紹介したりして、日本語と英語を使って交流しています。巨大な壁画の半分は日本で、半分はブラジルで描かれます。どうぞ楽しみにお待ちください！



味の素支援によるプロジェクト

味の素「食と健康」国際協力支援プログラムより、『地域特有の食材及び料理の再評価による、地域住民の栄養改善プログラム』として、二〇一二年四月一日より事業を開始しました。

事業開始直後に地域の食材の栄養価の特定を実施する予定のフォルタレーザ大学の教授が、一部の栄養素及び栄養価の測定ができないことを突然伝えてきました。そこで急遽、セアラ州内でラボが設備されている国立セララ大学と共同で栄養素及び栄養価の特定に当たることになりました。しかし、国立セララ大学でも特定不可能な栄養素及び栄養価があることが分かり、ブラジル味の素への協力要請を、味の素株式会社CSR部を通じて行ってもらうことになりました。返答は残念ながら対応不可能とのことでしたが、未知の食材でない限り調査報告がある可能性があるがあるので、それを元に対応できるということになり、なんとか無事に事業を開始することができました。

そんなこともあり、どうなることかと肝を冷やす思いでしたが、地域住民の積極的な食材収穫や事業への参加もあり、現在のところ大きな問題もなく事業を実施しています。こうした地域住民の姿を見てると、その期待の大きさがよくわかります。その期待に添えるような結果となるように精進していきたいと思います。

かながわ国際交流財団の支援によるプロジェクト

JICA基金の支援によるプロジェクト

かながわ国際協力基金より、『ブラジル東北部の貧しい漁村における、青少年を含めた地域住民への地域子育て事業』として二〇一一年十月一日より実施していた事業が二〇一二年九月三十日を持って無事終了しました。また、JICA基金より、『ブラジル・公立小学校と連携した学童教室実施による、学校教育改善事業』として二〇一一年十一月十七日より実施していた事業も、二〇一二年七月三十日を持って無事終了しました。

JICA基金で実施した事業はその後、二〇一二年十月二十、二十一日に開催された横浜国際フェスティバルでも紹介されました。実はこのJICA基金、ゆうちょ銀行の「ゆうちょボランティア貯金」より資金提供を受けているようで、この度、私たちの活動がゆうちょ銀行を通じて紹介される運びとなりました。

このように事業を現地で実施する為の支援だけに留まらず、こうして私たちの団体及び活動を伝えていただけることはとてもありがたいことだと心から感謝しております。今後とも充実した活動を行っていきけるように努めていきたいと思っておりますので、これからも応援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

ボランティア紹介

Douglas G. da Silva

ドグラス・ダ・シウバ
(2012年8月滞在)

私はモンチアズール出身で、昔、モンチアズールの幼稚園で真由美さんの生徒でした。それ以降、連絡は取っていませんでしたが、エヴァが始めたプロジェクトでその後も真由美さんが働いていると聞き、カノアを訪問することにしました。カノアでの活動はとても充実したものとなり、この地域を十分に知ることができました。

保育園クラスを手伝ったとき、担任であるパトリシアとエリアーナには大変よくして頂きました。二人とも素晴らしい先生です。フラビアーニのクラスでは英語の授業を手伝い、折り紙を使ってみんなで一つの白鳥を作るという大きな取り組みもしました。マルシアーノのクラスでは、この白鳥を生徒が各自一つずつ作ることができました。現在、このコミュニティでの活動を外部に宣伝し、企業の寄付やボランティアを集めるためのビデオを制作したいと考えています。

カノアは仕事をするのに素晴らしい環境です。豊かな自然とこの暑さ！ここに来る人はみんな、戻ってきたいといつも願うでしょう！真由美さんとまた会えて本当に良かったです。心から感謝します。



Jan Ehlers

イアン・エラス
(2012年8月〜12月滞在)

ドイツのハンブルグ出身のイアンと申します。私はマルシアーノクラスで授業補佐を行い、英語の授業を担当しています。私は作業療法士なので、村の人のセラピーも行っています。聴覚障害のある生徒ヒカルドに対しては、顔の筋肉を緩めるセラピーを行っています。また、職員会議の前には、先生たちに対して姿勢とエクササイズの指導をしています。

このように、長期で他の国に滞在することは私の大きな夢でした。私はカポエイラが好きなので、それもブラジルを選んだ動機の一つです。ここでもとても良い時間を過ごすことができ、自分が探していたものを全て見つけることができました。

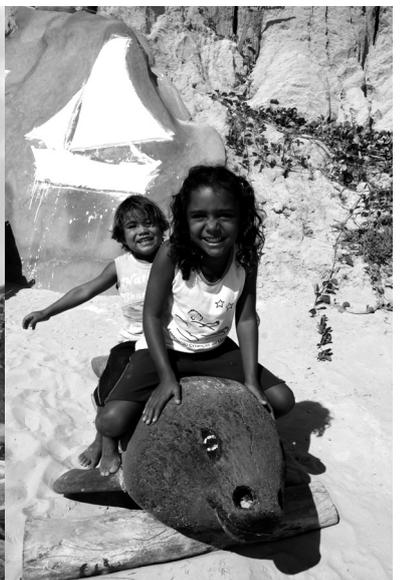
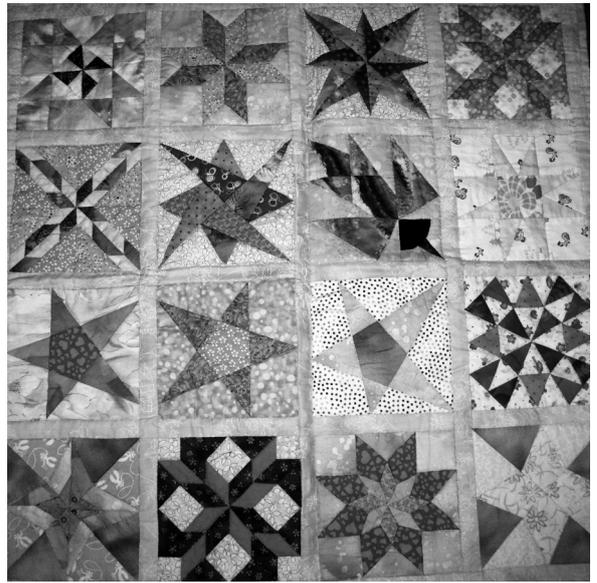
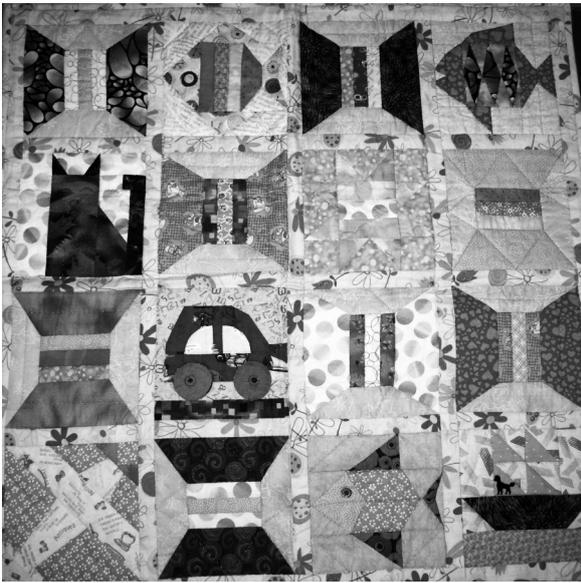


ベビーキルトの会との 活動協力

ベビーキルトの会との活動協力ですが、今回はフォルタレーザにあるハイリスク出産及び小児病棟のある病院に寄贈させて頂いたいただきました。これからもカノア・ケブラーダ地区だけでなく、十代での妊娠やハイリスクの妊娠を経て出産されたお母さん達を中心に寄贈させていただきますと思っています。

今後とも、ベビーキルトかわさき、ベビーキルト野の会、ベビーキルトなのはな、エイトポイントスターの四団体の皆様が心を込めて作成されたキルトを一人でも多くの母親、子どもに届けていきたいと思っております。そして、このキルトから勇気や力をもらい、元気に育っていただくことを心より願っております。

*ベビーキルトの会にご興味のある方は日本事務局までご連絡いただけますようお願い致します。



子育て日記より

豊かな自然。「ちょっと見ていてもらえ
る？」と、気軽に頼める人間関係。この小
さな村は子育てするにはもってこいの場所
です。ただ、以前にも増して麻薬使用者が
急増していることもあり、今までのように
手を広げて安心していることができなく
なってきました。私の周りでも麻薬使
用者による家庭内暴力や虐待が目につくよ
うになってきました。教職員会議でもこう
した問題を抱えた子どもの話が毎回のよう
に話題にのびります。当然私は、こうした
人たちと娘たちが関わることはないよう
と、気をつけています。

しかし先日、義兄が再び麻薬を使用し
ていることが判明しました。いとこ同士
仲がいいので、毎日のように祖父母の家
で一緒に遊びます。私は娘たちに「いと
この家には行かないよ」とだけ言ってあ
るのですが、それがどうも納得いかない
ようなのです。娘はまだ四歳と八歳。麻
薬のことなどを話すべきなのかどうか。
言っても理解できるのかどうか。こうし
て私達の生活の中にまで麻薬などの問題
が入り込み始めています。二人の娘がい
る母親として、今後どうやって義兄家族
と関わっていくか。本気で考えていかな
ければならない時が来ているようです。



ありがとうございます!!!

平成 24 年 5 月 10 日～平成 24 年 10 月 25 日現在までに会費及び寄付を頂きました皆さま及び物資支援を頂きました皆さまのお名前を下記に記載いたしました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。これからも一人でも多くの方に会員になって頂き、カノアの活動を共に支えていっていただけると嬉しいです。目標会員 100 名!!!

*会費及び寄付を頂きました皆様 (以下順不同)

大谷政敏 さま / 岡本りせ子 さま / 小川千鶴子 さま / 川原翼 さま / 神田昌実 さま / 合志 茜 さま / 合志千尋 さま / 諏訪田敦子 さま / 馬上隆一 さま / 村上誠 さま

*物資支援を頂きました皆様 (以下順不同)

Maresia さま

「学資支援」のお願い

ブラジルでは「子どもと直接かかわる職業の人はすべて、大学の教育学部に通学もしくは卒業していること」ということで、私たちの現地スタッフの内 2 名 (フラビアーニとパトリシア) は現在大学に通学しています。私立のため一人当たり: 授業料 (月謝) + 交通費 + 教材費 = 約 18,000 円 (R\$300.00) が掛かることとなり、その半分を支援していこうというプロジェクトです。

現在、毎月約 18000 円 (二人分) を学資支援しています。支援方法は、会員の支払い方法と同じです。但し、コメント欄に『学資支援』と書いていただけますよう、お願いいたします。

「共育ち・ひなた」にて、カノアの物品を販売

「共育ち・ひなた」は“子どもの育ちに寄り添うことを通して、私たち一親・支援者・私個人一として、もう一つの人生を味わうことができます。ここに集う人がつながり、共に育ち合う場をご一緒に創りたいと願っています。”というミッションを掲げ、横浜市内で活動しています。その活動に共感し交流を続けているのですが、今後とも共に学び合っていけたらと思っています。

「共育ち・ひなた」

連絡先・お問合せ 宮地 陽子

横浜市神奈川区鳥越 11-17

Tel/Fax: 045-423-6898 (19 時以降)

e-mail: tomosodachi.hinata@gmail.com

会費及び寄付の振り込み方法の改善について

現在、インターネットによる会費及び寄付の振込の可能性を検討しているところですが、今のところ、①郵便振替、②銀行振込、そして新たに③自動引落による振込の3つの方法によって、会費及び寄付を受け付けています。まだまだ至らない点もあるとは思いますが、今後とも皆様からのご意見を生かしながら運営していきたいと考えておりますので、ご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

■自動引き落としによる振り込み方法

1. 自動引き落とし希望の口座のある金融機関に行き、自動引き落としの手続きをする。(この際、ご希望の引き落とし日、金額を指定していただけます)
2. ご希望の引き落とし日よりご指定の金額が『光の子どもたちの会』に振り込まれます。

*尚、ゆうちょ銀行の場合は下記の<郵便振替>と同じ口座番号ですが、他金融機関からの振り込みの場合には、<ゆうちょ銀行振込>と同じ口座番号となりますので、ご確認ください。

■郵便振替

口座番号: 00280-1-41787

加入者名: 光の子どもたち-カノアの活動を支える会

■ゆうちょ銀行振込

名義: 光の子どもたちの会

店名: O二八 (読みゼロ二八チ)

店番: 928

普通預金

口座番号: 5552594

ボランティアの皆さん、どうもありがとうございました!! (以下 2012 年 8 月より現在まで)

2011/7/26 ~現在

真野由紀

JICA 日系青年ボランティア、保育園助手、日本文化教室実施他

2012/8

ドグラス・ダ・シウヴァ (ブラジル人)

レクリエーション活動

2012/8/13 ~現在

イアン・エラス (ドイツ人・作業療法士)

学童教室補佐、英語の授業担当、セラピーの実施